

直方文化財散歩・記念碑巡り
炭鉱関係の慰霊碑

直方市内の炭鉱遺跡

直方市内には田川市石炭・歴史博物館の三井田川鉱業所二本煙突や竪坑櫓、飯塚市の住友忠隈炭鉱ボタ山のような巨大なモニュメントはありませんが、直方の炭鉱の歴史は長く、遺跡もいくつか残されていますので紹介します。

貝島炭礦遭難者招魂碑（古町）

直方駅前前の圓徳寺（浄土真宗本願寺派）の境内、本堂の右側にある大きな石碑で、寺院の外側からも見ることが出来ます。

明治四十二（1909）年に現在の宮若市にあった貝島炭鉱大之浦坑で



貝島炭礦遭難者招魂碑
（古町・圓徳寺境内）

ガス爆発が発生し二百五十九人が死亡しましたが、この事故の殉職者慰霊のために翌年建立されました。
貝島太助の実家は圓徳寺のすぐ近くにありました。

三菱新入炭鉱火災記念碑（下新入）

新入大橋を渡って西鉄バス新入本村バス停から左へ曲がったところにある長安寺（浄土宗）の本堂裏手の高台の墓地の中にあります。

三菱新入炭鉱第一坑は上新入に坑口がありました。明治二十七年（1894）年に坑内火災が発生し入坑者五十八人中十八人が焼死しました。

この記念碑には危険を顧みず救助が試みられましたが、遂に不帰の人となった六人の坑夫の名前が記されています。



三菱新入炭鉱火災記念碑
（下新入・長安寺墓地内）

三菱新入炭鉱悉皆成仏塔（下新入）

長安寺の墓地の火災記念碑のすぐ近くにあり、
「悉皆成仏」とは皆ことごとく成仏するようにという祈りの言葉です。

三菱新入炭鉱の老朽化に伴い大正八（1919）年に第二坑（山部）、大正十一年に第三坑（下新入）を閉山し、昭和二（1927）年に第一坑（上新入）と第四坑（植木）、翌年に第五坑（大字直方）を閉山して、三菱鉱業は直方から撤退しましたが第一坑は昭和三十年代後期まで別会社での操業が続きました。

この慰霊塔は遠い故郷から来て無縁仏になった坑夫とその家族を弔うために三菱鉱業が昭和二年に建立したもので、塔の周囲には小さな墓碑がたくさん並んでいます。



三菱新入炭鉱悉皆成仏塔
（下新入・長安寺墓地内）

直方の歴史と文化

文 桼 正 澄

文化財に関する問い合わせ…文化・スポーツ推進課社会教育係（TEL 25-23326）

人の動き

■人口 56,092 人（－352） ■世帯数 27,390 世帯（＋65）
[うち外国人 604 人]
男 26,465 人（－218） 令和3年6月末現在
女 29,627 人（－134） （ ）は前年同月との比較

<発行>直方市
〒822-8501 福岡県直方市殿町7番1号
URL … <http://www.city.nogata.fukuoka.jp/>
<発行日>毎月1日（月1回）
<編集>秘書広報課秘書広報係
TEL … (0949)25-2236 FAX … (0949)22-5107
E-MAIL … n-koho@city.nogata.fukuoka.jp
<印刷・制作>株式会社ワールドプリンティング



市ホームページ



インターネット 直方市Instagram 情報提供サービス

SNSやウェブサイトで様々な情報発信を行っています。ぜひ、ご覧ください。



さあ、あなたもフォロー！

アプリ「マチイロ」



市報をアプリで配信中！

直方市公式LINE



直方市と友だちになろう！

情報メール「つながるおがた」



緊急情報、イベント情報など

直方市バーチャルミュージアム



直方の文化を隅々まで